

令和2年度生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰  
 本県受賞者（団体）の功績等（県推薦分）

1 生涯スポーツ功労者

氏名	手石 正一郎（ていし しょういちろう）
主要経歴	鳥取陸上競技協会強化部長等
功績	<p>長きにわたって陸上競技の選手育成に情熱を傾け、数多くの優秀選手を育成。わかとり国体をはじめ国体・インターハイにおいてコーチ・監督として本県に欠かすことのできない指導者として活躍。</p> <p>強化部長就任後は、数少ない投てき指導者として、高校生はもとより、合同練習等を通じてジュニア指導にも献身的に取り組むとともに、後継となる若手指導者の育成にも積極的に取り組むなど、競技の普及・振興に尽力。</p>

氏名	瀬尾 憲次（せお のりつぐ）
主要経歴	鳥取県銃剣道連盟理事長等
功績	<p>長年にわたって銃剣道に情熱をもって指導者及び監督・選手として積極的に大会等に参加し、銃剣道の技能向上に貢献。</p> <p>理事長就任以降は、少年の指導者として県立武道館武道教室において卓越した指導力・統率力をもって青少年の育成に当たり、国体出場選手の輩出はもとより、小中学生の選手発掘にも注力し、銃剣道界の裾野の拡大・競技者層の底上げに貢献。</p>

氏名	港 浩二（みなと こうじ）
主要経歴	鳥取県ライフル射撃協会理事等
功績	<p>国体選手として本国体に出場する傍ら、年少者の指導にも関わり、国体少年競技の出場に寄与。また監督としても入賞者を輩出。</p> <p>県東部を中心とした因幡シューティングクラブの指導を引き継ぎ、また県内ジュニアアスリート発掘・育成における指導責任者として、年少者を中心に競技力の向上、競技人口の拡大を図っている。また、高校射撃部新設の立役者にもなるなど、より多くの子どもたちに競技に親しんでもらうための環境整備に尽力。</p>

2 生涯スポーツ優良団体

団体名	三朝ACスポーツ少年団（三朝町）
代表	造酒 幸雄
功績	<p>子供たちに駅伝の持つ楽しさと魅力を伝えるとともに、大会を通じ交流の輪が広がっていくことを期待し、単位団の独自事業として「小学生交流三朝町クロスカントリーリレー」を平成14年から開催。18回目となる令和元年度大会は県内の小学校やクラブチームから98チーム552名の参加があるなど、年を追うごとに参加者を増やし、活動の活性化が顕著。</p> <p>大会期間中は振舞・もてなしを通じて来訪者に対する町の魅力発信に取り組むなど、地域の発展にも大きく貢献。</p>

団体名	鳥取県ホッケー協会（八頭町）
代表	福田 俊史
功績	<p>長年にわたり幅広い年代を指導・育成。県内中学生チームが全国大会で優勝・入賞し、また国体やインターハイでは高校生チームが入賞するなど、子どもたちの力を存分に引き出している。ロンドン・リオデジャネイロ五輪にも選手を輩出。</p> <p>体験会やホッケークリニック、練習会等を活発に行うなど裾野の拡大に熱心に取り組む、スポーツ少年団も少しずつ増加。県内小学生競技者も100名程度にまで達している。また、中学校や社会人でもホッケークラブが創設され、生涯スポーツとしてホッケーを楽しむ環境づくりを進めている。</p>

団体名	鳥取県アーチェリー協会（鳥取市）
代表	杉原 弘一郎
功績	<p>ジュニア段階から競技に親しみ、成年段階での活躍に繋げる育成システムを構築し、アジアやオリンピックをはじめとした世界レベルで活躍する選手を輩出。</p> <p>また、鳥取市・米子市の練習拠点に体験の場を設けて指導に当たるとともに、毎年、社会人選手権、障がい者オープン室内選手権などを開催するなど、誰もがアーチェリーを楽しむことのできる環境づくりを進めている。</p>